中心市街地・官民協働・安心安全・観光

熊本市都心部地区

（熊本県熊本市）

○ 計　画　期　間　平成 19 年度～平成 23 年度
○ 面　　積　８９０ha
○ 交付対象事業費　19,512 百万円
○ 市人口 661,249 人（地区内人口 33,552 人　）

ポイント

熊本城をシンボルとした都心部の賑わいの形成

地区概要

「熊本城の歴史文化に触れる機会の創出」、「中心商店街の活性化」、「安全で安心な暮らしやすい居住空間の創出」を図る。

目　標

城下町の歴史が息づく暮らしやすい環境の中で、九州中央の交流拠点都市にふさわしい多様な交流と賑わいのある都心部を形成する。

指　標

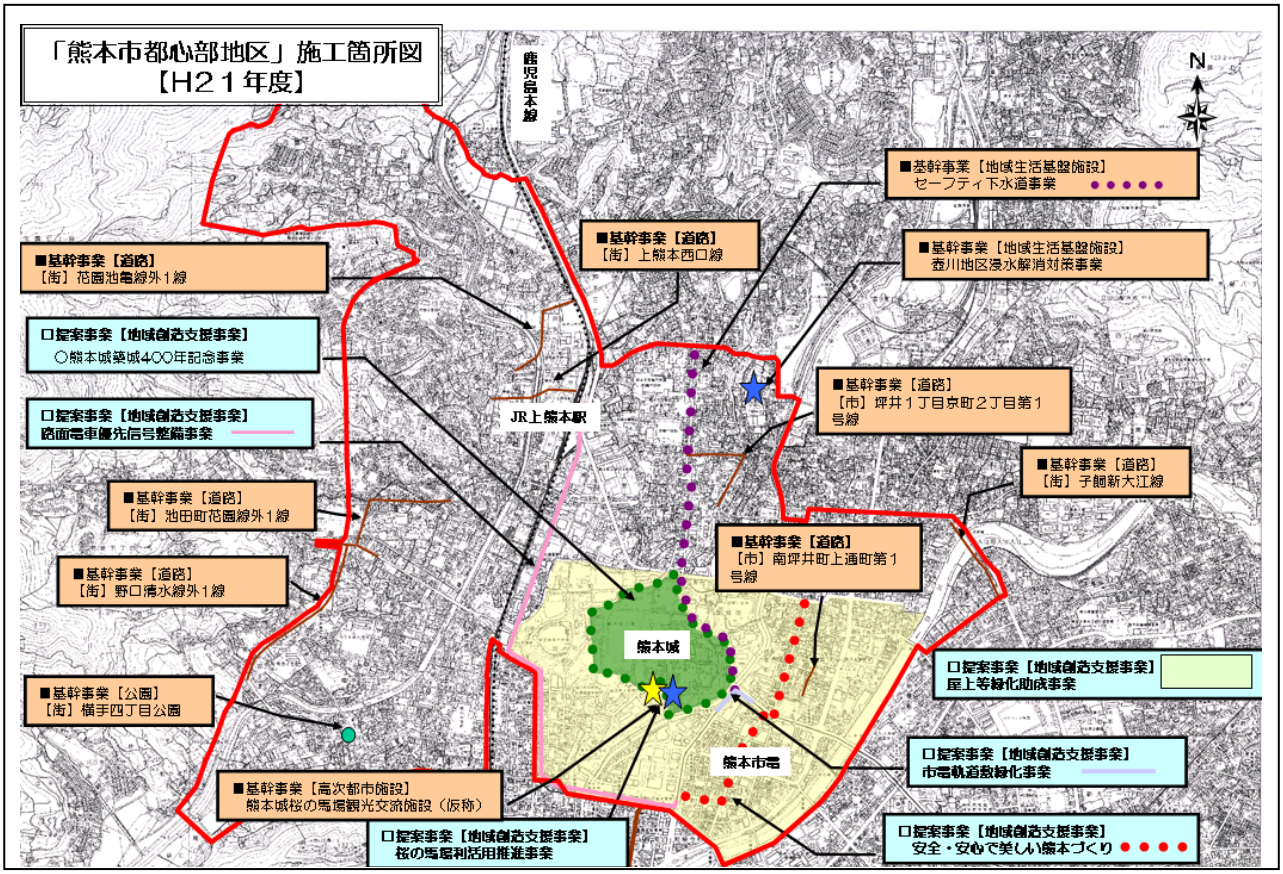
日本有数の観光名所でもある熊本城の魅力向上を中心とし、その周辺に位置する中心市街地の活性化や、そこに住む人々の暮らしやすさを作り出すという、地域住民へも目を向けた目標を設定した。

熊本城入場者数	825,807 人/年	H17	→	1,000,000 人/年	H23
商店街歩行者通行量	248,509 人	H18	→	275,000 人	H23
計画区域内居住人口	33,820 人	H18	→	34,000 人	H23

事業内容

基幹事業（17,814 百万円）→道路（約 7,428m）、公園（1 箇所、約 2,671 ㎡）、地域生活基盤施設［壺川地区浸水解消対策事業］（1 箇所 0.48ｋ㎡）、［セーフティ下水道事業］（約 500 箇所）、高質空間形成施設（約 4 箇所）、高次都市施設（約 3,350 ㎡）

提案事業（ 1,698 百万円）→熊本城本丸御殿復元整備事業（約 2,161 ㎡）、熊本城築城 400 年記念事業（5 回）、熊本城周辺おもてなし空間整備事業（2 箇所）、中心市街地活性化推進事業、路面電車優先信号整備事業（約 2.9ｋｍ）、城西地域コミュニティセンター整備事業（約 250 ㎡）、屋上等緑化助成事業（5 件/年程度）、桜の馬場利活用推進事業、安全・安心で美しい熊本づくり事業、他



地区の現況と課題

- 近年、市街地の拡大や大規模商業施設の郊外立地等により都心部への来街者数が減少している。
- 本市が九州の中央に位置するという地理的優位性を最大限に活かし、魅力ある交流拠点都市となるためには、熊本城をシンボルとする都心部地区の魅力と活力の創出に取り組むことが課題となっている。

提案事業の特徴

熊本城本丸御殿復元整備事業

熊本城が有する歴史的価値や観光資源を活かしつつ、本丸御殿の復元整備を行い、熊本城の入園者数増や滞在時間の延長を図る。

熊本城周辺おもてなし空間整備事業

熊本城と調和のとれた景観形成を図りつつ、熊本城周辺部の環境整備を行い、熊本城来園者の利便性向上や快適な散策の実現を図る。

屋上等緑化助成事業

都市部のヒートアイランド現象を緩和するとともに、潤いのある都市空間を創出するため、屋上や壁面の緑化事業に対して助成を行い、良好な生活環境の形成を図る。

安全・安心で美しい熊本づくり事業

路上喫煙及びポイ捨て禁止対策関連事業を実施し、安全で安心できる環境の創出や環境美化整備による都市のイメージアップを図り、県内外からの観光客誘致等による中心商店街の活性化を図る。

計画策定プロセス

産・学・官の連携によるまちづくり

個別に活動してきた商店街が相互連携の取り組みをはじめ、また、熊本大学工学部が出張研究室「まちなか工房」を開設し、商店街や行政と合同で勉強会を開催するなど産・官・学連携によるまちづくり活動が展開されるようになった。

熊本市中心市街地活性化基本計画の認定

中心市街地の活性化を推進するため、平成 19 年 3 月に基本計画を策定、同年 5 月に国から認定を受けた。

また、平成 18 年 12 月には官民一体となって「中心市街地活性化協議会」を設立し、中心市街地の都市機能の増進や経済活力の向上を総合的に推進している。

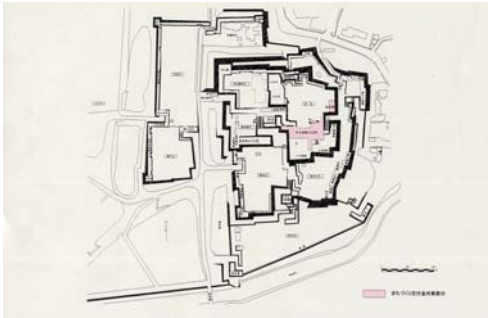
賑わいのあるまちづくりの推進

事業の円滑な推進と、目標の実現に向けて効果をあげるため、「中心市街地活性化協議会」等の意見も聴きながら、計画の進行管理、事業間の調整を行うこととしている。また、事業終了後も、同協議会や「まちなか工房」等との連携を図り、賑わいのあるまちづくりを推進していく。

熊本市長　幸山政史のコメント

平成 23 年春の九州新幹線鹿児島ルート全線開業を控え、今後、本市が九州中央の魅力ある交流拠点都市として成長していくためには、熊本城を中心とした都心部地区の魅力と活力の創出は、必要不可欠であります。

今回の「まち交大賞」の受賞を契機に、今後も、産・官・学の連携を図りながら、市民の皆様と共に、九州中央の活力ある交流拠点都市「湧々都市（わくわくとし）くまもと」の実現を目指し、賑わいのあるまちづくりに取り組んでまいります。



熊本城本丸御殿復元整備事業

熊本城周辺おもてなし空間整備事業

屋上等緑化助成事業

熊本市中心市街地活性化協議会
会長　中尾　保徳のコメント

熊本市の中心市街地は、先に策定された「中心市街地活性化基本計画」に沿って順調に熊本城を中心にまちづくりが推進されている。

今回は、熊本城の本丸御殿復元、中心市街地でのアーケード完成、熊本駅周辺の整備事業、多彩で賑わい創出の各種イベントなどの「熊本城をシンボルとした都心部の賑わい形成」事業が高く評価されたものと思います。

今後は、来街者が「まち」に今、何を求め、どのような「まち」であってほしいのかなどの来街者ニーズをいち早く掴み、迅速且つ的確に関係者等が行動し、おもてなしの心を持って「安全・安心」で賑わいのある中心市街地のまちづくりに努めてまいりたいと思います。

熊本城下のまちづくり協議会
桜町地区会議　会長　安部　勝巳のコメント

私たち桜町地区会議は、毎年春に地区内の商栄会、企業、自治会が力を合わせ「桜町さくらまつり」を、秋には、行政と協働で熊本城に続くシンボルロードを歩行者天国とし、「城下町大賑わい市」を開催するなどまちの賑わいづくりに取り組んでいます。

このような中、今回の「まち交大賞」受賞は、熊本城のお膝元の桜町地区でまちづくりに取り組む私たちにとっても大変うれしいものです。

今後も、現在当地区で計画されている 2 つの民間再開発やシンボルロードの常時歩行者空間化の実現に向け、事業者や行政と連携して取り組んでまいりたいと考えています。